

教 科	外 国 語	科 目	論理・表現I
履修条件 対象生徒	選択必修 デザイン科 2 学年		
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
学習方法	[授業] ・教科書を中心に学習し、必要な表現を覚える練習をする。 ・コミュニケーションに必要な文法・語法を深く理解する。 ・英語圏の国々の文化について学び、言葉の背景にある習慣や考え方を理解する。 ・ペアやグループ、一斉等、様々な形態を用いて多種多様な会話表現に慣れる。 ・その日の授業で学んだことの復習をする。 [補習・その他] 与えられた補助教材を活用して、自主的かつ意欲的に取り組む。		
学習計画 と ねらい	< 1 学期末考査まで > 自己紹介、授業説明 Lesson1. My Hero Lesson2. Plans for the Weekend Lesson3. Tips for foreign Tourists Lesson4. My Own Experiences Lesson5 Popular Foods in the World < 2 学期末考査まで > Lesson6. Guinness World Records Lesson7. The Best-before Dates Lesson8. Ready for Disasters Lesson9. Introducing Japanese Culture Lesson10. What Did You See? < 学年末考査まで > Lesson11. Your Own Special Products Lesson12. A Sightseeing Spot to Recommend Lesson13. I wish I could Lesson14. What Is “Upcycling”?		○ 授業の進め方、予習・復習のし方の説明 ○ 現在と過去を表す表現 ○ 未来を表す表現 ○ 助動詞 ○ 完了形 ○ 受動態 ○ 比較①（比較級・最上級） ○ 比較②（同等比較、倍数比較） ○ 動名詞・to 不定詞。 ○ to-不定詞①（名詞的用法） ○ 分詞 ○ 関係詞①（関係代名詞） ○ 関係詞②（関係副詞） ○ 仮定法 ○ 接続詞
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して、話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して、話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話したり、書こうとしたりして
評価の方法	ループリック評価表を利用して、評価の観点、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」の3つの観点から、授業態度、テスト結果、提出物などの学習活動を総合的に判断して評価する。		